

2022年度兵庫県高等学校陸上競技記録会（姫路会場）競技注意事項

- この競技会に適用する規則は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
- 参加者は、場内では競技中を除いてADカードまたは受付時に配付されたリストバンドを身につけておくこと。
- 本競技場でのウォーミングアップは8：40までとする。それ以降は多目的広場を使用すること。ただし、多目的広場全天候走路は順方向で使用し、トラックを周回する練習は禁止する。
また大会本部の指示により競技に支障がない範囲で、本競技場第2コーナー～第3コーナー8レーン外側でのウォーミングアップを認めることがある。
危険防止のため両練習会場とも一切の投てき練習を禁止する。

4 招集について

- 選手招集所は、第2ゲート外に設け、下表の招集時刻にしたがい点呼をおこなう。

招集時刻	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	45分前
完了時刻	20分前	35分前

- 場所及び手順

[トラック競技] プログラム記載の招集時刻に第2ゲートにおいて競技者係の点呼を受ける。（アスリートビブス、使用シューズ、腰ナンバーカード、スパイクピンなどの確認）

[フィールド競技] プログラム記載の招集時刻に第2ゲートにおいて競技者係の点呼を受ける。（アスリートビブス、使用シューズ、スパイクピンなどの確認）

- 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出しあわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・使用シューズなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り招集時刻の点呼に代理を認める。
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。
 - 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
 - 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。1500m、3000m、5000m、5000mW、男子3000mSCは、招集時、競技者係から配られる。
- トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。
 - 競技規則に適合しているシューズであることを確認するため、招集時、レース前・終了後に靴底を計測することがある。

7 男女の5000m競歩は同時スタートとする。スタートは1列とし、男子がイン側に、女子がアウト側にプログラム記載順に整列する。

8 リレーのオーダー用紙は、各種目1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに記録室へ提出すること。（オーダー用紙は、学校受付時に配布する）ただし、4×100mRについては7時40分から8時10分までの間に提出すること。

9 走高跳、棒高跳以外のフィールド競技の試技数は3回とする。

10 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

男子 走高跳 ــــــــ 1m80までは5cmきざみ、以降3cmきざみとする。

棒高跳 ــــــــ 3m00までは20cmきざみ、以降10cmきざみとする。

女子 走高跳 ــــــــ 1m50までは5cmきざみ、以降3cmきざみとする。

棒高跳 ــــــــ 10cmきざみとする。

走高跳・棒高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。

11 やりは、検査を受けて自己のものを使用することができる。

検査場所 ・・・・玄関ロビー

検査時間 ・・・・男子13:00 女子 9:30

12 ウォーミングアップは手柄山中央公園補助競技場を使用すること。占有使用ではないので一般利用者とトラブルがないよう注意すること。全天候トラックでは、逆走と周回、占有して使用することを禁止する。投てき練習は危険防止のため、一切禁止する。（競技前に練習時間を設ける）

13 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型スパイクピンの付いたシューズを使用すること。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。

14 リザルトの発表は掲示せず、アナウンスによる一部発表とともに指定のWEBページに掲載する。 (<http://seibanrikujou.gl.xrea.com/>)



15 競技場内およびサブトラックでの日傘の使用は、安全確保の観点から禁止する。